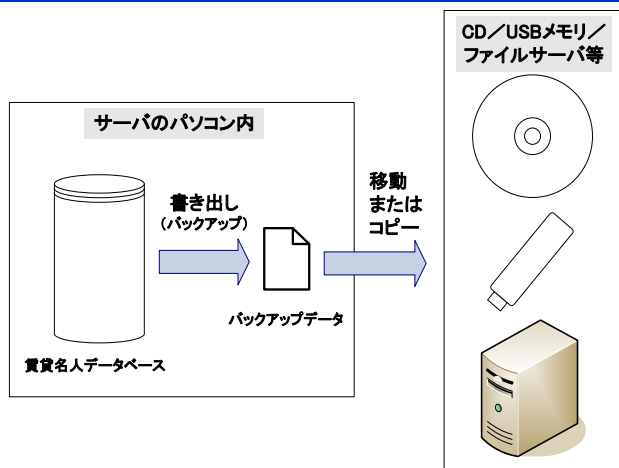


12. バックアップ／リストア

本章では、賃貸名人のデータ保守手順であるバックアップとリストアについて説明します。

バックアップとは



バックアップとは、賃貸名人のデータを Microsoft SQL Server から外部に書き出すことを言います。

書き出したバックアップファイルは障害に備え外部記憶媒体 (CD/USB/ファイルサーバ等) にコピーしてください。

△Point

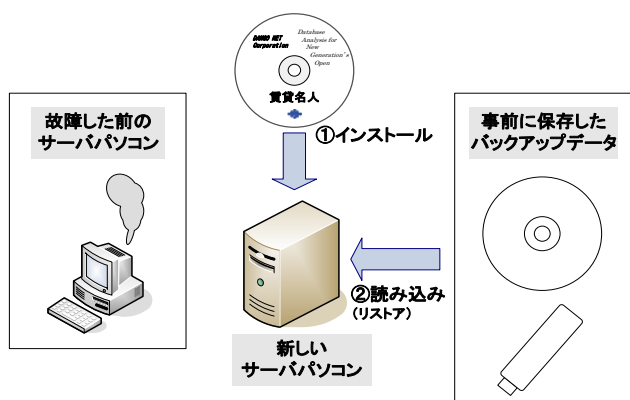
想定される障害

賃貸名人のデータが故障または喪失することが想定される事態としては「サーバパソコンの故障」「(故意、過失を問わず)人為的なデータの破壊」「サーバパソコンの盗難」等が考えられます。

画像やオプション製品のバックアップ

賃貸名人のバックアップを行っても、賃貸名人に登録した画像や一部オプション製品のデータはバックアップすることができません。後述の手順で、これらについてもデータをバックアップする必要があります。

リストアとは



リストアとは、障害発生後に事前書き出したバックアップファイルを読み込むことを言います。

リストアを行うとその時点で登録されている賃貸名人のデータは上書きされ失われますのでご注意ください。

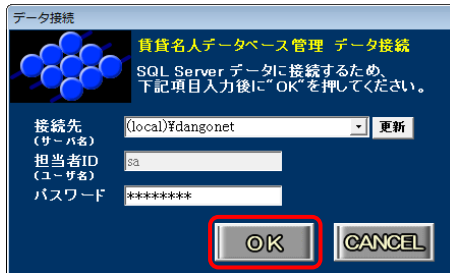
12-1. バックアップを行う

バックアップはサーバで行います。次の手順でバックアップを行ってください。

賃貸名人のデータをバックアップする

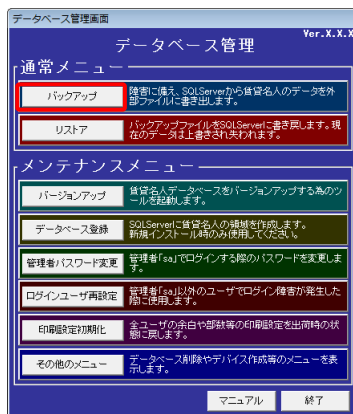


賃貸名人を終了し、デスクトップのショートカット等から「賃貸名人 データベース管理」を起動します。



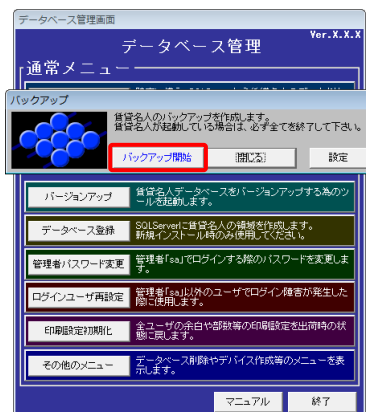
データ接続が開きます。

特権ユーザ「sa」のパスワードを入力し **OK** を押してください。

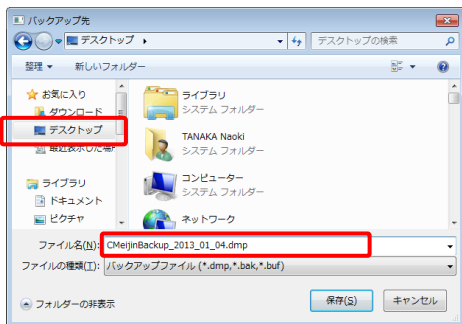


データベース管理が開きます。

通常メニューの **バックアップ** を押してください。



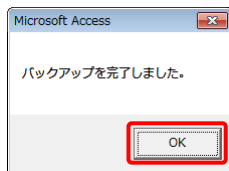
バックアップ開始 を押します。



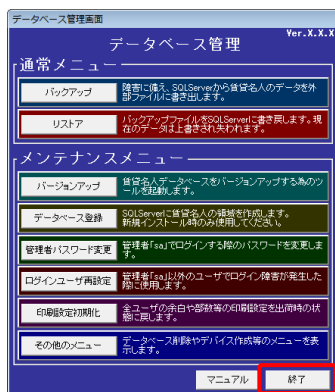
バックアップファイルの保存先やファイル名を指定し

保存 を押します。

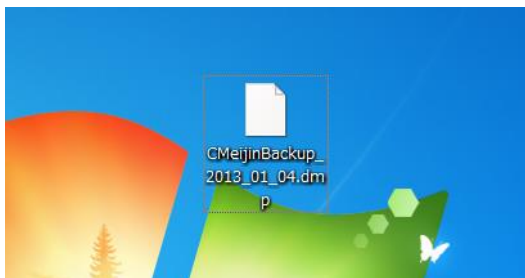
左の例では保存先にデスクトップを指定しました。



バックアップが完了すると左のダイアログが表示されます。



終了 を押しデータベース管理を終了します。



指定した保存場所を開くとバックアップファイルが作成されています。

最後に作成されたバックアップファイルを外部記憶媒体にコピーまたは移動してください。

△Point

バックアップを行う頻度

バックアップを行うとその時点で貸借名人に登録されている情報が書き出されます。バックアップを行う頻度はデータ入力期間においては毎日、データ登録完了後の運用期間においては1週間毎が目安です。

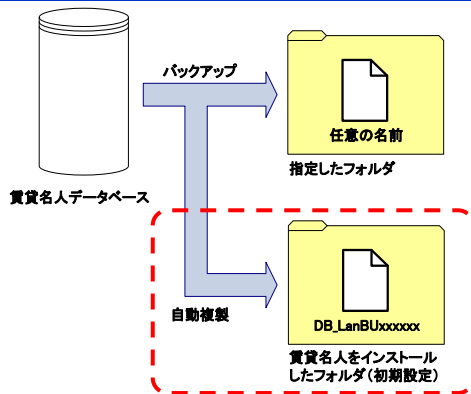
バックアップファイルの容量

バックアップファイルの容量はご利用開始直後で30MB前後、1,000件の契約者が登録された状態で100MB前後が目安です。定期的にバックアップを行うと古いバックアップファイルが蓄積します。古いバックアップファイルは必要な数個(最新3個等)を残し適宜削除してください。

情報セキュリティ

バックアップファイルは個人データベース(データベース化された個人情報)のコピーです。厳重に管理してください。

賃貸名人のバックアップに関する設定を行う

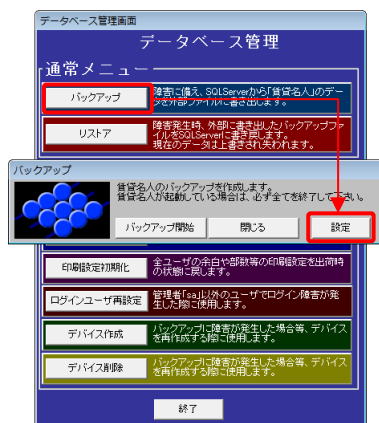


バックアップを行うと賃貸名人インストールフォルダにバックアップファイルのコピーが自動的に保存されます。

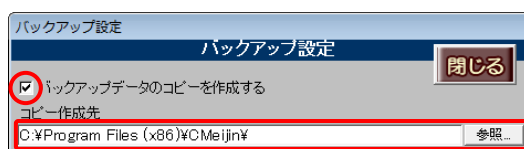
これは万が一全てのバックアップファイルを喪失した場合でもデータの復旧ができるように配慮した処理です。しかしながら長期間整理を行わないと自動複製されるバックアップファイルが蓄積し、ドライブ容量を圧迫することが懸念されます。

本項ではこの自動複製処理の要否や保存先フォルダの変更方法を説明します。

まずデータベース管理を開き **バックアップ** を押します。



次に **設定** を押します。



コピー作成の要否や作成先フォルダを指定してください。

設定が完了したら **閉じる** を押します。

△Point

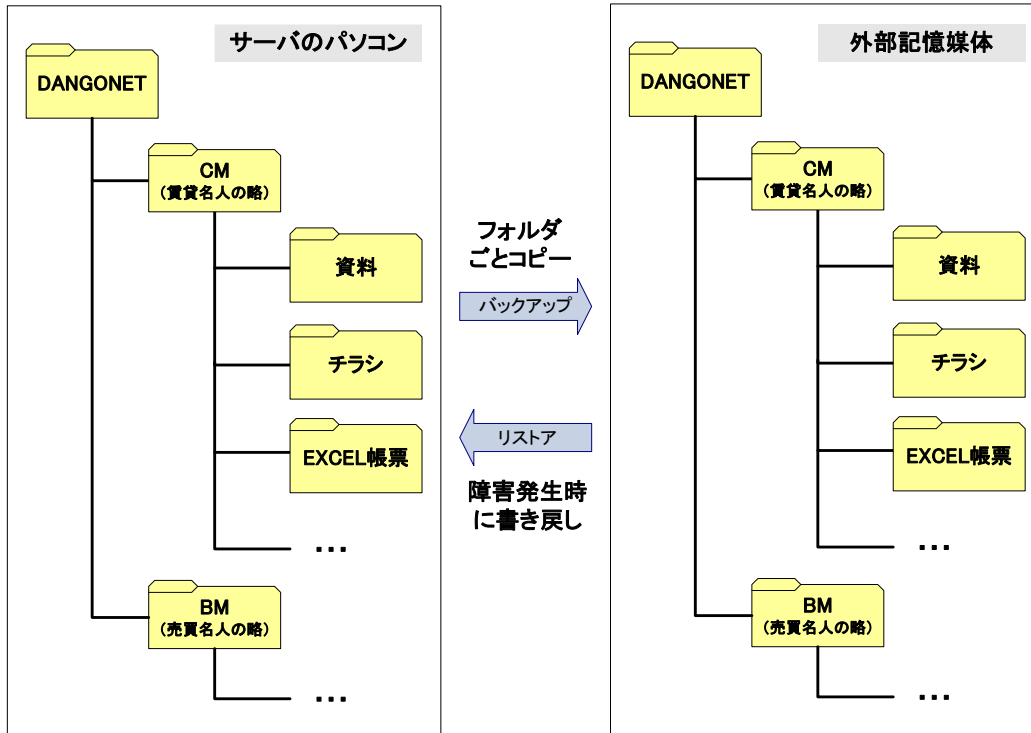
自動コピーによるシステムドライブの圧迫

自動コピーはバックアップを行うたびに作成され蓄積していきます。また、『賃貸名人』の標準インストールフォルダは C ドライブ(システムドライブ)です。そのため、パーティショニングを行いシステムドライブの容量を制限しているサーバでは、使用年数に応じてシステムドライブの容量を圧迫する恐れがあります。その場合は本項で説明した設定変更を行い、コピー先を D ドライブにすると良いでしょう。

12-3. 資料やオプション製品のバックアップやリストア

資料やオプション製品のデータは該当のフォルダをコピーする事でバックアップし、障害発生時にはフォルダを書き戻す事でリストアします。

そのため次の図のように資料やオプション製品のフォルダを一つのフォルダ下にまとめるとこれらの保守(バックアップ等)を容易にすることができます。この例では複数のダンゴネット製品(『賃貸名人』『売買名人』)が用いるフォルダを「DANGONET」フォルダ下に集約しています。



複数台(ネットワーク型)で『賃貸名人』をご利用の場合は、親フォルダ(上図の例では「DANGONET」フォルダ)を共有フォルダにし、各パソコンにおいてネットワークパスで指定します。

『賃貸名人』の復旧インストール後、最初にマスターデータ登録画面で画像やオプション製品のデータの保存先フォルダを指定します。フォルダの設置場所がご不明のときは、『賃貸名人』を起動しマスターデータ登録画面をご確認ください。(パスの設定については「インストールマニュアル」に詳しい記載があります。)